

JUMP

6
2012
JUN

平成24年5月30日発行



元気企業
訪問

有限会社
ノザキ

ひょうご中小企業技術・ 経営力評価制度を活用

P5 活性化センター・カレンダー

P6 支援ネットのひろば

●情報カレンダー

●兵庫県信用保証協会かわら版
創業にかかる
保証のご案内

●工業技術センターの
技術支援で製品化
操作しやすい給湯器リモコン
～高機能リモコン「RC-C001シリーズ」～

P9 ケーススタディ

こんな時どうする？

下請企業がこれから
取り組むべきことは？

P10 成長期待企業のイチオン!

株式会社JIB

ハトメ付きバッグ

今月の支援メニュー

ひょうご中小企業技術・
経営力評価制度

中小企業の技術力・ノウハウ
や成長性、経営力等を評価し
た評価書を発行し、担保に頼
らない融資や経営改善を支
援する制度

ひょうご産業活性化センターは、中小企業に対して、
技術力・将来性を評価した評価書を発行し、円滑な資
金供給や企業価値のアピールを支援する、ひょうご中
小企業技術・経営力評価制度を設けています。精密超硬
金型部品製造のノザキは3月にこの制度を利用。自社の
強みにあらためて気付くとともに、今後、設備資金の借
り入れ時には、評価の結果を活用したいと考えています。



「兵庫県企業庁の産業用地」

ホームページを開設しました!

URL www.hyogo-sangyoyouchi.jp/

- 各用地の特長、区画図、分譲概要や立地支援制度などを詳しくご紹介しています。
- 是非、アクセスいただき、各用地の優位性をお確かめください!!



■お問い合わせ先

兵庫県 TEL078(362)4326 (企業庁 立地推進課)

元気企業
訪問

有限会社
ノザキ

技術の強みや方向性を 客観的に知る機会 これからも 定期的に評価を

あえてハードルの高い技術に挑む

超硬金属はタングステン、コバルトなど世界でも生産量の少ない、いわゆるレアメタル（希少金属）の合金でできています。名前の通り高い硬度を持つ金属であるため、研削加工、さらに仕上げの鏡面加工には熟練の技能が求められます。中でもノザキが優れているのは、1ミクロン単位の公差にも対応できる精密な加工技術を有していることです。

もともと金属の研削加工では定評のある会社として大手電機メーカーなど優良な取引先に恵まれていたが、ここ10数年、大手メーカーの中国シフトが一気に進んでいったことに危機感を持った同社では、あえてハードルの高い精密加工分野へ仕事を絞り込みました。

ノザキで作られた金型部品は超硬金型メーカーで組み立てられ、自動車や弱電メーカー向けの電子部品となります。仕事の大半は試作品や1個から100個程度までの小ロットばかり。図面通りに短納期のニーズに応えることで自然に取引先は増えていきました。

自社を客観的に知る良い機会に

同社がひょうご中小企業技術・経営力評価制度を利用したのは、朝来市商工会からの紹介がきっかけでした。「ありがたいことに営業担当者を持たずにやって来られたことは、取引先からご評価いただいている証だと思うのですが、自分たちが持っている技術が客観的にどのように評価してもらえるのか率直に知りたと思いました」と野崎和彦専務。

申し込みの申請書には、自社の技術の内容や新規性、強み、弱みについて書き込む欄があります。「今までは受けた仕事をとにかく図面、納期通りに納めることだけをしてきたので、自社の技術について深く考える良きっかけになりました」。申請書を書く中で分かった自社の強みは「どんな図面でも形にできること」だったそうです。円筒型の精密超硬金型部品を手掛ける競合が少ない中で評価は非常に高く、

「自社でやってきたことが間違っていなかったと安心できました」と話します。

一方で、評価書ではいくつかの指摘を受けました。その1つが、超硬金属の材料となるタングステンやコバルトなどの材料が入手できなくなるリスクに対する備えです。同社では3年ほど前から超硬金属だけでなくスチール、ステンレスなどの鋼、セラミックなど徐々に加工分野を広げつつあるそうです。併せて、かつて売り上げの8割を1社の超硬金型メーカーに依存していた時期がありましたが、現在では3社にバランスよく分散しており、いずれは5%ずつ20社に分散するのが目標だそうです。



職人の手作業に頼る汎用切削機械が並んでいます

同社は評価を取得した後、中小企業支援ネットひょうごの「成長期待企業」にも選ばれました。これは、県内の中小企業支援機関が用意する各種支援メニューを活用して総合的なサポ

ートが受けられるもので、野崎専務は「今後精密機械の設備投資をする際の借り入れなどで評価の結果を生かすことができれば」と言います。

また評価については「自社の方向

性を知る良い機会になりました。変化の速い時代なので、3年を目途に評価をお願いしたいと思っています」とこれからの制度を経営に活用していこうと考えています。

会社概要
有限会社ノザキ

所在地 朝来市和田山町加都129-1
代表取締役社長 野崎周二
事業内容 超硬金型部品の製造

TEL 079-674-2033
FAX 079-674-2237

支援メニュー講座

ひょうご中小企業技術・経営力評価制度

あなたの会社の成長性・発展性を評価します

制度概要

中小企業の技術力・ノウハウや成長性、経営力等を評価した評価書を発行し、担保に頼らない融資や経営改善を支援します。製造業だけでなく保証協会の保証対象業種であればどの業種でも評価します。

標準評価型：6万7,000円（評価手数料10万円のうち3万3,000円は県補助により当センターが負担）

オーダーメイド型：13万4,000円（評価手数料20万円のうち6万6,000円は県補助により当センターが負担）

<ひょうご中小企業技術・経営力評価制度が「イノベーションネットアワード2012」の「地域産業支援プログラム優秀賞」を受賞することになりました>

メリット

- ① 専門家による客観的な評価により、自社の「強み、弱み」が分かります。
- ② 新たな視点で事業改善のヒントが得られます。
- ③ 企業価値のPRや資金調達に活用できます。
- ④ 明らかになった課題に対し、ひょうご産業活性化センターほか各支援機関が支援策を提案します。

問い合わせは ひょうご産業活性化センター成長支援課 TEL078-291-8521

但馬銀行
TAJIMA BANK

〒668-8650 兵庫県豊岡市千代田町1番5号

TEL 0796-24-2111 URL <http://www.tajimabank.co.jp/>

活性化センター・カレンダー

経営専門家派遣事業のご案内

知識と経験を有する民間の専門家を貴社に派遣し、「経営戦略」、「事業システム構築」、「企業間連携」、「海外生産戦略」などの経営上の課題解決をお手伝いします。

【制度のあらまし】

対象企業	兵庫県内に事業所があり、次のいずれにも該当すると認められる中小企業であること 1. 経営の向上を目指す意欲のある中小企業であること 2. 経営革新など経営の向上に係る目的あるいは目標が明確であること 3. 助言を受けることにより、支援の効果が期待できる状況であると判断されること
派遣する専門家	中小企業診断士などの経営の専門家
派遣回数	10回まで (上記回数以内で、センターが決定します)
企業の自己負担	$\frac{2万7,000円(謝金)+旅費}{2} \times 派遣回数$ (注)旅費はセンターの旅費規程に基づきます。
1回当たりの助言	3時間程度

※詳細は、下記ホームページをご覧ください。

URL http://web.hyogo-iic.ne.jp/jigyo/page_585.html

▶問い合わせ・申し込み先：ひょうご産業活性化センター経営強化部 総合支援課

TEL 078-230-8051 FAX 078-291-8190

言葉を伝える
私に伝えた
誰かのように



あなたの本を
書いて
みませんか？

小説、自伝、詩集などあなたがお書きになった原稿をご予算に応じた自費出版プランでご提案いたします。また、各企業の記念誌等の企画・プロデュースもいたしております。どうぞお気軽にご相談ください。

株式会社 神戸新聞総合印刷
〒650-0044 神戸市中央区東川崎町1-5-7

印刷物の企画プロデュースから編集・印刷まで、ニーズに合わせてトータルに手がけます。
☎078-362-7180
<http://www.kobenp-printing.co.jp/>

企画・デザイン・編集・制作・新聞印刷・商業印刷
出版印刷・新聞広告・雑誌広告・SP・イベント・IT事業

ISO14001

当社の印刷センターはISO14001の
認証を取得しています。
新聞印刷及び各種商業印刷



情報カレンダー

Information Calendar

第18回 ひょうご技術交流大会のご案内

兵庫県工業技術振興協議会は、県立工業技術センター等と共催し、異業種・異分野の中堅・中小企業のシーズ・ニーズを交流することによって、技術の融合化・複合化が活性化されるとともに、産学官の幅広い交流が進展することを願って、「第18回ひょうご技術交流大会」を次のとおり開催いたします。

- ▶日時:6月5日(火) 15:00~19:00
- ▶場所:兵庫県民会館(神戸市中央区下山手通4-16-3)
- ▶主催:兵庫県工業技術振興協議会、兵庫県立工業技術センター、(公財)新産業創造研究機構
- ▶内容:
第1部 15:00~17:00 9階けんみんホール(無料)
 - ・基調講演「失敗の連鎖による不況」
講師:兵庫県立大学工学部准教授 本田逸郎氏
 - ・会員企業の先進事例を紹介(2企業)
 - ・同時に、兵庫県立工業技術センター研究成果のポスター展示
- 第2部 交流会17:10~19:00 11階バルテホール(参加費5,000円)
- ▶問い合わせ・申し込み先:
工業技術センターのホームページからお申し込みください。
[URL](http://www.hyogo-kg.jp/modtreepage01_11450/) http://www.hyogo-kg.jp/modtreepage01_11450/
兵庫県立工業技術センター 技術支援部 担当 岩田
TEL078-731-4486

ひょうご優良経営表彰式および講演会のご案内

兵庫県および神戸商工会議所は、卓越した経営の仕組みを有し実践している県内中小企業を表彰し、経営品質の向上を支援しています。この度、平成24年度上期「ひょうご優良経営賞」表彰式を実施いたします。

表彰式に併せて、社員満足や顧客満足の観点から優れた経営を行う企業を紹介するビデオ教材「DO IT!」の編集長で㈱ブロックス代表取締役社長の西川敬一氏をお招きし、講演会を開催いたします。多くの皆さまの参加をお待ちしております。

- ▶日時:6月8日(金) 14:00~16:00
- ▶場所:クオリティホテル神戸16階 バルセロナ(神戸市中央区港島中町6-1)
- ▶参加費:無料
- ▶内容:
第1部 表彰式14:00~14:20
第2部 講演会14:30~16:00
「ひとの心が輝く経営 ~社員の幸福を追求する経営者から学んだこと~」
(㈱ブロックス 代表取締役社長(「DO IT!」編集長) 西川敬一氏)

▶申し込み・詳細等:以下URLの「おすすめのセミナー・イベント」のコーナーをご覧ください。

- ▶URL <http://www.kobe-cci.or.jp/>
- ▶問い合わせ先:神戸商工会議所 経営支援センター
- ▶TEL 078-367-2010 FAX 078-371-3390

「第14期KCCI創業塾~起業家カレッジ~」のご案内

ビジネスの立ち上げや経営に必要な知識を短期間で体系的に受講できるベンチャースクールです。修了後、個別指導・金融あっせんなど、一貫した支援体制を確立しています。

- ▶日程:6月16日(土)~7月21日(土)
(毎週土曜日 計6回)
- ▶場所:神戸市産業振興センター(神戸市中央区東川崎町1-8-4)
- ▶参加対象者:新たに事業を起こそうとしている方、創業間もない方、社内起業家~新しい事業を創造するビジネスリーダー~、「起業」に関心のある方
- ▶定員:40人(先着順)
- ▶参加費:1万5,000円
(受講料1万円、交流会参加費5,000円)
- ▶問い合わせ・申し込み先:
[URL](http://www.kobe-cci.or.jp/pdf/sogyojuku2012.pdf) <http://www.kobe-cci.or.jp/pdf/sogyojuku2012.pdf>
神戸商工会議所 経営支援センター
TEL078-367-2010 FAX 078-371-3390

「知財総合支援窓口」のご案内

特許・実用新案・意匠・商標の出願方法、申請書類のチェック、先行技術調査の受付その他産業財産権に関する疑問等の相談をお受けします。

「知財総合支援窓口」は(一社)兵庫県発明協会と(公財)新産業創造研究機構NIROに設置しています。
※事前予約制(随時、電話にて受け付け可)

- ▶問い合わせ・申し込み先:
兵庫県発明協会【知財総合支援窓口】
神戸市須磨区行平町3-1-31産業技術センター4階
(兵庫県立工業技術センター内)
TEL078-731-0603 FAX 078-731-6248
[URL](http://www.jiiihyogo.jp/) <http://www.jiiihyogo.jp/>
- NIRO技術移転センター【知財総合支援窓口】
神戸市中央区港島南町1丁目5-2
キメックセンタービル6階
TEL078-306-6808 FAX 078-306-6813
[URL](http://www.niro.or.jp/n_ip_support/) http://www.niro.or.jp/n_ip_support/



創業にかかる保証のご案内

創業にかかる保証は、適正な事業計画を持って県内で新規に事業を開始しようとする意欲ある方をバックアップします。ぜひご利用ください。

制度名	創業関連保証	再挑戦支援保証	創業等関連保証
	根拠法	産業活力再生特別措置法	
保証限度額	1,000万円以内 (創業関連保証と再挑戦支援保証の合算限度額)		1,500万円以内
資金使途	運転資金および設備資金 (ただし、新会社設立のための資本金(株式取得資金)は、対象となりません)		
担保	不要		
連帯保証人	原則として、法人の代表者を除き不要		法人の代表者を除き不要
自己資金	不要		借入金額と同等以上の自己資金が必要
融資対象者	①事業を営んでいない個人で、1か月以内に事業を開始する方 ②事業を営んでいない個人で、2か月以内に会社を設立する方 ③事業を営んでいない個人が事業を開始し、5年を経過していない方 ④事業を営んでいない個人が設立した会社で、設立後5年未満の会社	経営状況の悪化により過去に営んでいた事業を廃止または会社を解散 [*] してから5年を経過していない以下の方 ※解散時に業務を執行する役員であった方も含まれます ①事業を営んでいない個人で、1か月以内に事業を開始する方 ②事業を営んでいない個人で、2か月以内に会社を設立する方 ③事業を営んでいない個人が事業を開始し、5年を経過していない方 ④事業を営んでいない個人が設立した会社で、設立後5年未満の会社	①事業を営んでいない個人で、借入金額と同等以上の自己資金を有し、1か月以内に事業を開始する方 ②事業を営んでいない個人で、借入金額と同等以上の自己資金を有し、2か月以内に会社を設立する方 ③事業を営んでいない個人が事業を開始し、5年を経過していない方 ④事業を営んでいない個人が設立した会社で、設立後5年未満の会社 ⑤分社化を計画する会社 ⑥設立後5年未満の分社化された会社
融資利率	金融機関所定利率		
保証料率	1.00%		
返済方法	原則として、均等分割弁済		
融資期間	10年以内(据置1年以内)		
その他	<ul style="list-style-type: none"> 創業関連保証(再挑戦支援保証を含む)と創業等関連保証は併用することができます。この場合の限度額は2,500万円となります。 代表者以外に実質的経営者がいる等の場合は、連帯保証人をお願いすることがあります。 		

※上表は概要であり、詳細については当協会の担当部署へお問い合わせください(担当部署についてはホームページをご覧ください)。



兵庫県信用保証協会

CREDIT GUARANTEE CORPORATION OF HYOGO-KEN

<http://www.hosyokyokai-hyogo.or.jp>

操作しやすい給湯器リモコン

～高機能リモコン「RC-C001シリーズ」～

兵庫県立工業技術センター 平田 一郎



1.はじめに

私たちが日常使っている情報機器の多機能化が進んでいます。例えば、携帯電話にはカメラやインターネット機能が当たり前のように付いており、カーナビにはテレビやDVD再生の機能が付いています。機能面では便利になった反面、一つ一つの操作手順は多くなりました。

そのため、機器によっては、操作が複雑でユーザーが混乱してしまう場合もあります。

工具や包丁など昔から親しまれている製品のデザインでは、外観を使いやすく美しくすることが求められます。一方、近年急速に開発が進んでいる情報機器においては、これまでの外観デザインに加えて「操作画面」も分かりやすいデザインが求められます。このような背景の下、兵庫県立工業技術センターでは操作画面のデザインに関する研究を進めています。本稿は、多機能化が進んでいる給湯器リモコンを株式会社ノーリツと共同で開発した事例について紹介します。

2.高機能タイプの給湯器リモコン開発

高機能タイプの給湯器リモコンは、ガスや電気などの「エネルギー使用量の確認」や床暖房等の「暖房機器のコントロール」等、給湯以外に多くの便利な機能が付いていますが、リモコンサイズは従来と同じままです。これらの機能を見やすく表示するためには画面サイズを大きくする必要がありますが、そうすると操作ボタンのスペースが減ってしまいます。このため、限られたスペースで、画面のサイズと操作ボタンの量の最適なバランスを検討しなければなりません。さらに、画面とボタンのレイアウトと連動した操作手順や用語の「分かりやすさ」、暖房機器のオプション数に応じた「メニュー構成」などの検討が必要です。

以上のように、さまざまな検討内容を基にデザイン案は作成されます。それが本当に操作しやすいものになっているか確認するには、設計者以外の人にデザイン案を操作してもらって評価をする必要があります。

この操作性の評価を行うためには、操作のシミュレーションができる試作モデルが必要となりますが、通常、この試作には時間と費用がかかります。そのため、これまで、試作モデルは、設計仕様がある程度決定した段階（開発プロセスの後期）に作成していました。しかし、後期段階で操作性の評価を行っていたのでは問題が発見されても修正が難しくなってしまいます。

そこで、開発の初期段階でも操作性評価が行えるモ

ーションプロトタイプを用いてこの問題を解決しました。このプロトタイプは、アニメーションソフトで作成した画面デザイン案をタッチパネルに表示させることで、操作シミュレーションが行えます。



モーションプロトタイプ

3.設計プロセスの改善による効果

仕様の決まっていない開発の初期段階から上記プロトタイプで操作性の評価を繰り返し行い、高機能で操作しやすい給湯器リモコンを開発しました。設計プロセスを改善することにより、最適な画面サイズとボタンレイアウトと連動して操作手順を検討することが可能となり、操作性の評価を初期段階で検証することができるようになりました。

上記設計プロセスによって開発された高機能リモコン「RC-C001シリーズ」は、操作しやすく美しいデザインとして「2011年グッドデザイン賞」や「平成23年度グッドデザインひょうご 日常生活部門賞」を受賞しました。



開発された給湯器リモコン (RC-C001シリーズ)

問い合わせ先

開発事例に関する問い合わせは
兵庫県立工業技術センター
 〒654-0037 神戸市須磨区行平町3-1-12
 TEL 078-731-4033 FAX 078-735-7845
 URL <http://www.hyogo-kg.jp/>

商品に関する問い合わせは
株式会社ノーリツ
ノーリツコンタクトセンター
 TEL 0120-911-026
 URL <http://www.noritz.co.jp/>

ケーススタディ こんな時どうする？

Q

大手機械メーカーの下請企業です。コストダウン要求や競合企業との価格競争が厳しくなっています。成り行きに任せて事業を続けていたのでは将来がありません。これからの取り組みについてアドバイスをお願いします。

A



元気カンパニー仕事研究所
代表 中小企業診断士 野崎 幸雄

経済のグローバル化の進展や景気の長期低迷などによって、発注元の手元大手企業と発注先の中小企業（以下それぞれ「親企業」「下請企業」と呼びます）の長期的・安定的な取引関係を前提にした下請分業構造は崩れつつあります。親企業が下請企業を再編成し、一部の優秀な企業に発注を集中させるという動きも見られます。

下請型の中小企業製造業が生き残り、成長軌道に乗り換える道筋として、自社製品を開発し下請から脱却する「脱下請」戦略があります。この戦略で成功した企業も多数ありますので、選択肢の一つですが、継続的に事業を拡大していくことは容易ではありません。それは、自社製品を開発できる技術力があっても、市場調査や流通経路の構築、営業活動といった新しい領域のノウハウの蓄積や経営資源の確保が必要だからです。

もう一つの道筋として、「強い下請企業」として生き残る戦略があります。強い下請企業とは、これまでの下請企業とは異なり、親企業からパートナーと認められ、受託・請負業務を拡大する、自立性の高い企業と定義できます。下請取引には「独自の製品開発をしなくても仕事が確保できる」「営業活動が少なく済む」「技術指導が受けられる」などのメリットがあり、多くの中小企業経営者は、下請取引の中で生き残る道を模索しています。今回は後者、「強い下請企業」戦略について説明します。

下請企業が親企業からパートナー、すなわち強い下請企業として認められるには、競争優位のための3つの力、「技術力」「対応力」「提案力」の視点から戦略を練り、戦略を遂行していくことが必要です。

■技術力

親企業の多くは生き残りをかけ、採算性向上のために選択と集中、そして製造のアウトソーシングや下請企業への一括発注の傾向を強めています。親企業の製造プロセスに不可欠な製造・加工技術を、独自の技術として保有し、強化することで、受託業務の拡大につなげるこ

とができます。具体的な戦略課題としては、「独自技術の開発」「生産技術の高度化」「一貫生産体制づくり」などが挙げられます。

■対応力

新製品開発のスピードはますます速くなっており、親企業は短いリードタイムで、仕様の頻繁な変更に対応できる下請企業を求めています。また、小ロット発注や生産量の調整に対応できる柔軟性も必要となっています。中小企業が本来持っている「小回りの良さ」や「意思決定の早さ」を生かすことが、競争優位性となります。具体的な戦略課題としては、「小量生産体制づくり」「短納期生産体制づくり」などが挙げられます。

■提案力

量産品の製造プロセスの一部を請け負うだけではなく、新製品開発や既存製品の改良・改善、製造プロセスの生産性向上などに役立つ提案をすることが競争優位性につながります。具体的な戦略課題としては、「新製品開発・製品改良の提案機能強化」「製造プロセスの改善提案機能強化」などが挙げられます。

経営資源の保有状況や親企業のニーズ・動向は企業ごとに異なります。戦略課題を絞り込み、自社なりの「強い下請企業」戦略を構築し、遂行してください。なお、戦略の構築にはいくつかのパターンがあります。“変化”のチャンスを逸することなく取り組んでください。

- ①親企業のニーズ・動向の変化に対応し、蓄積してきた経営資源を生かし、戦略を構築する。
- ②親企業の将来のニーズ変化を予測し、自社の経営資源を新たに蓄積しつつ、戦略を構築する。
- ③親企業からの働き掛けに対応し、戦略を構築する。

参考資料：中小公庫レポート No.2005-7 『「強い下請企業」の戦略』2006年3月29日

成長期待企業 の イチオシ!

中小企業支援ネットひょうごは成長性を見込んだ企業を「成長期待企業」として選定し、複合的な支援を実施。頑張る企業が誇る製品を紹介します。

ハトメ付きバッグ

株式会社JIB

ロープを通せば救助具に早変わり すべての商品に ストーリーがある

軽くて丈夫な上、ファッションブルな色合いも手伝って若い人たちに高い人気を誇る「JIB」のバッグ。ともすればファッション性ばかりに目が行きがちですが、杉原寛信社長は「デザインは機能を満たした先に生まれる」と語ります。

ヨットや山スキーなど多彩な遊びを知る杉原社長が、ヨットの帆に使われるセールクロス素材にバッグを作り始めたのは34年前のこと。以来、アウトドアシーンで生まれたさまざまな発想を製品作りに反映させてきました。

例えば2つのハトメが付いたバッグは、いざという時、救助具になるように考えられたものです。ハトメの穴に丈夫なロープを通して持ち、遭難者にはバッグの持ち手をスキーのストックを持つように手を通

して持ってもらえば、しっかりと引き寄せることができます。荷重がかかってもハトメ、持ち手部分がちぎれないように素材、縫製にこだわっています。

また、セールクロスを切る際には、切断面がほつれることを防ぐため、熱を加えて切断面を固めながら切る溶断という方法を使っています。布地そのものの強さだけでなく、随所に施されたこうした気遣いにより長持ちさせることができ、「30年以上使い続けている方もいます。エコなバッグですね」

バッグのほかにもヨット磯釣り用の最強の糸（ダイニーマ）を使った携帯ストラップ、コーヒーカップの形をイメージした小銭入れなど、すべての商品に開発に至ったストーリーがあります。「アイデアは遊びの中から生まれてくる」が持論の杉原社長。JIBでは杉原社長の他メンバーの従業員がアウトドアスポーツを楽しんでいるそうです。



JIBのバッグは2つのハトメがトレードマーク

すべてが手作り。溶断の作業は二人がかりで行われます



◎株式会社JIBの「ハトメ付きバッグ」

株式会社JIB / 所在地: 西宮市甲子園一番町7-18 バレー番町ビル3F
代表取締役: 杉原寛信 / 事業内容: バッグの製造・販売
TEL 0798-46-6668 / URL <http://www.jib.ne.jp/>

編集後記

ノザキの工場は整頓が行き届いていました。以前はルールなどを書いた紙が張られていたそうですが今は見当たりません。「社員が自主的に考え、行動する習慣が付いてきたから」と野崎専務。どんな変化にも柔軟、即座に対応できる会社を目指しているそうです。

JUMP

2012年6月号 平成24年5月30日発行
発行人: 表具喜治 編集人: 深田修司

明日へ飛躍する企業をサポート

ひょうご産業活性化センター通信

発行所 公益財団法人ひょうご産業活性化センター

URL <http://web.hyogo-iic.ne.jp>

神戸市中央区雲井通5-3-1 サンバル6階

TEL 078-291-8526

中小企業者と創業者のための総合支援プラザ！ ビジネスプラザひょうご

当センターの施設を、中小企業の支援を目的とした研修等の場としてご利用いただけます（有料）
※なお、現在は中小企業支援を行う団体・NPO法人を利用対象としています

6F

【利用料金】

◎交流室
1,000～2,000円

交流ゾーン

少人数の勉強会や会議などが開催され、情報が得られる、交流できるスペースです。

交流室



平日は夜間のみご利用いただけます。

定員 12席 面積24.5㎡

7F

【利用料金】

◎ホール
5,000～15,000円
◎ITサポート室
1,500～15,000円

ホール

セミナーや商談会、チャレンジマーケットなどのイベントが開催され、中小企業者や創業者が情報を得ることができる、学べる、交流できるスペースです。また、「中小企業支援ネットひょうご」の構成団体や連携団体のセミナーや交流会などにも活用されます。



定員 机・椅子：54席 椅子のみ：80席 面積126㎡

ITサポート室

経営戦略等に直結する実務的なIT技術のスキルアップなど中小企業のIT経営をサポートするスペースです。また、「中小企業支援ネットひょうご」の構成団体や連携団体のIT研修にも活用されます。

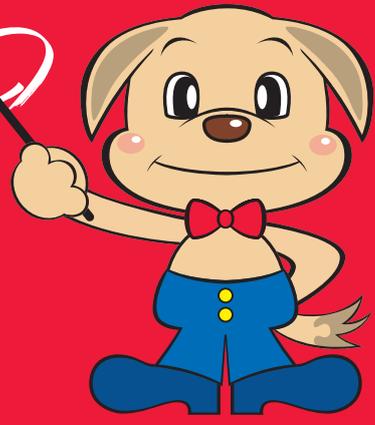


定員 15席 面積36㎡

公益財団法人ひょうご産業活性化センター 経営強化部 総合支援課
TEL078-291-8540 FAX078-291-8190

施設の空き状況や利用料金等の詳細につきましては、お電話にてお問い合わせください。

火災保険の掛金節約なら 必要な補償だけを選べる 県共済の火災共済



県共済は中小企業のための共済だから
法人・個人を問わず、
事業用の建物と動産に加入できます。

県共済って、どんな共済？ 兵庫県の認可により、中小企業等協同組合法という法律に基づいて、中小企業のための共済事業を営む、営利を目的としない共済組合です。

ステップ1 補償が必要なものを選びます。

建物	お店の備品	工場の機械
お店・工場の在庫品	自宅の家財	

ステップ2 基本補償に必要な補償だけプラス。 ※詳しい補償内容は資料をご請求ください。

基本補償 火災 消防冠水 落雷 破裂・爆発

※基本補償だけでもご加入いただけます。

★基本補償にA～Cの補償を自由にお選びください。

A 5種の事故の セット補償	<p>物体の衝突 盗難 水濡れ 水災 騒擾</p>	B 基本補償の 事故時の 諸費用を補償	<ul style="list-style-type: none"> あと片づけ費用 死亡・後遺障害 消火器のつめ替え費用 など 	C 風・雪災などに 備える補償	<p>風災 雷・雪災 地震火災費用(見舞金)</p>
-----------------------------	---------------------------	-------------------------------------	---	------------------------------	----------------------------

※1…商品は対象になりません
※2…20万円以上の損害の場合

ステップ3 補償期間も選びます。 複数年一括契約なら、さらに掛金を節約

例えば、3年で10%、7年なら15%節約できます。

3つのステップで選んだら、ぜひご相談・お見積もりを！

この紙面をコピーし、必要事項をご記入のうえ、078-371-6757まで

ご住所	<input type="text"/>	お名前	ふりがな
電話番号	<input type="text"/>	(ご担当者様)	
物件の所在地	<input type="checkbox"/> 上の住所と同じ <input type="checkbox"/> 兵庫県	建物の用途	店舗(販売品目)) 工場(製造品目)) 住宅・事務所・その他()
補償が必要なもの	<input type="checkbox"/> 建物 <input type="checkbox"/> お店の備品 <input type="checkbox"/> 工場の機械 <input type="checkbox"/> お店・工場の在庫品 <input type="checkbox"/> 自宅の家財	ご希望の補償を○で囲んでください。 補償種類 基本補償 + A・B・C	ご希望の期間を○で囲んでください。 補償期間 1・2・3・5・7年
現在の保険の満期日()	<input type="checkbox"/> 年 <input type="checkbox"/> 月 <input type="checkbox"/> 日	<input type="checkbox"/> 未加入	<input type="checkbox"/> 契約をしたい <input type="checkbox"/> 見積りしてほしい <input type="checkbox"/> 説明を聞きたい <input type="checkbox"/> 資料を送ってほしい

ここに掲載されている内容は概要を示すものです。(平成22年4月現在)詳しい補償内容等につきましては、パンフレット・約款等をご確認ください。
◎初めて火災共済にご加入いただく方は、出資金として200円をお預かりいたします。

兵庫県火災共済協同組合御中 今回提供する個人情報の利用目的が、貴組合および関連団体、提携・委託先の各種商品やサービスの案内・提供・維持管理および商品・サービスの充実であることを確認しました。また、本情報がこれらの利用目的のために、貴組合指定の代理所に提供されることに同意します。

お問い合わせ・資料請求お待ちしております。

兵庫の中小企業を補償でサポート！

兵庫県火災共済協同組合

神戸市中央区中山手通7-28-33 県立産業会館2F

FAX 078-371-6757 24時間受付

0120-655-666 月曜～金曜 午前9時～午後5時

県共済 検索 http://www.ken-kyosai.or.jp